

令和元年5月9日(木)

1か月が経過しました。

今年の最初に、

- 1 授業第一主義
- 2 時間を守る
- 3 仲間をリスペクトする

という目標を全学年の生徒に伝えました。

1か月が経過し、学校内外の様子を点検してみると、授業で寝ている子もいなくなってきました。朝、遅刻する生徒もほとんど見かけなくなりました。様々な活動をコミュニケーションよろしくこなしていく中で、人間的な深みが出て来ているのではないかとという場面に遭遇しています。

生徒諸君がこのことを継続することができれば、学校が変わるはずです。

ただ、なかには、朝から寝ている生徒がおり、SNSへの心配が心をよぎります。

学校で一番大切なことは、生徒の学校生活での安心安全を徹底し、その命を守り、生きる力を身に着けさせることです。

さらには、学力を担保しながら、進路先を確実にする指導を徹底することです。

また、体力を養い、健康な精神と体作りに邁進し、人格の陶冶を達成する徳力を身に着けさせることです。

そのような、目標に向け、様々なリスクマネジメントが大切です。

今回の1年生の学習合宿では、スマートフォンの使用を制限しました。すると驚くなかれ、部屋における忘れ物が一つもなく、時間をきちんと守り、意識の高い生活を形作ることができたのです。

つまり、スマートフォンが与える影響は、計り知れないダメージとして存在するのです。朝起きられない子供の9割以上は、SNSの使用による夜の生活の乱れが原因です。バーチャルな世界観の中で、他人とのかかわりの仕方を誤り、自分の進む道を誤ることはすぐ身近に存在します。

少しぐらいならとか、皆がやっているからとか言い始めるのが、その誤りへの第1歩となっています。志望大学を自分のものにしたある生徒は、ラインのアプリを1年間削除したとっておりました。電話機能だけにして使用することで、自分の道を達成したというのです。

3年間を見通したこのような取り組みは、必ずいい結果をもたらします。大学生になってから、思う存分スマートフォンを使うのはいかがでしょうか。